橋詰　實

高１７期

仕事・ボランティア・趣味の三本柱で

親子三代　登美丘で

創立１００周年を心からお祝い申し上げます。私は１７期卒の堺市に住む男性です。

大学卒業後、サラリーマンとして定年まで勤めその後は公務員として、就労支援事業に携わり６５歳で２度目の定年を迎えました。私は健康が取り柄で、今も仕事・ボランティア・趣味と、毎日元気に過ごしています。

昨年の６月に新型コロナウイルス感染症で延期になっていました登美丘高校１７期生合同同窓会をやっと開催することができました。２０年ぶりに恩師の方々や仲間達とお会いすることができ感慨深いものがありました。その時に登美丘高校は来年１００周年を迎えると聞き、母校の歴史の重みを改めて感じました。

私の母は昭和１４年に黒山女学校を卒業して大阪府職員に、四男は平成１４年に登美丘高校に入学し、テニス部での活動や多くの友達に恵まれ、充実した楽しい学園生活を過ごしたようです。何かのご縁で、親子三代に渡り登美丘でお世話になり育てていただいたことになります。　母に当時の女学校の様子を聞きたいと思い尋ねはしますが、今では微笑みしか返ってきません。きっと女学校ならではの楽しい出来事があったのでしょう。

登美高時代の思い出は、文化祭・体育祭・修学旅行等、色々ありましたがそこにはいつも仲間がいました。時には喜び、怒り、悲しみ、楽しみ共に過ごしたことです。静かな恵まれた環境の中で、先生と生徒に信頼関係があり、生徒の自主性を尊重する風土がありました。それは創立以来、諸先輩方が歩んでこられた「人を育てる」という教育の原点が揺るぎなく続いていることでした。私は登美丘高校で「共に生きる」ことの大切さを教えていただきました。定年後に地域のボランティア活動に参加し、高齢者や子育て支援活動を通じて、共に生きることの大切さを痛感しています。

今、登美丘高校の生徒は大阪から全国に、いや世界に向かって羽ばたいています。今後の活躍に夢が膨らみます。

母校が創立１００周年を迎え、次の１００年に向かい、益々のご発展を心からお祈り申し上げます。願わくは私の孫も登美丘高校の同窓生になることも

■プロフィール

1969 年　3 月　登美丘高校卒業

1975 年　3 月　甲南大学　文学部　社会学科卒業

1975 年　4 月　株式会社レナウンダーバン　入社

2012 年　4 月　梅田公共職業安定所　入所

2016 年　4 月　大阪学院大学キャリアセンター　入所

2017 年　3 月　ボランティア活動に参加（ボランティア金岡・校区民生委員）

2020 年　4 月　堺市立金岡北中学校　勤務